

厳しい財政状況の中で新たな
納税の確保、雇用の創出
及び人口増加などが期待さ
れ、地域活力の創出、地域
産業への波及効果は非常に
大きなものと考えています。

企業誘致に関する当市の
取り組みについては、昨年
4月から産業振興課を新設
し、首都圏のほか、近畿、
九州等、約40社の県外企業
や関係団体等を訪問し、誘
致活動及び情報収集に努め
ているところです。また、
愛媛県地域産業活性化協議
会が開催する「えひめ産業
立地フェア」についても、
昨年9月には東京都で、参
加企業116社に対し誘致
活動を行い、今年度は大阪
市で11月に開催予定であり、
昨年同様誘致活動を行うこ
とにしています。

今後も引き続きパナソニッ
ク工場跡地への大手企業を
対象とした誘致活動を行う
とともに、市内の拓海・晴
海工業団地等への誘致活動、
パナソニック工場跡地の分
割・分譲等についても選択
肢の一つとして考え、県内
外の中小企業を訪問するな
ど、誘致活動を展開してい
きたいと考えています。

大洲産業フェスタ2011



また、昨年から75社の市内
企業訪問を実施したところ、
市内に製造拠点を増設した
業数社が工場を増設した
とのお話をいただいております。
できる限りの支援をするこ
とにより、市内で工場増設
をしていただき、少しでも
雇用環境がよくなるよう努
力していきたいと考えてい
ます。

東日本大震災、急激な円
高等により景気が冷え込む
中、早急に企業誘致を実現
することは厳しい環境です
が、引き続き積極的に誘致
活動を展開し、若者を初め
とした市民の雇用の場の確
保に努めていきます。

観光事業

問 観光客の受け入れ態勢
について

答 外国人観光客の受け入
れについては、案内サイ
ン整備、外国語パンフレッ
トの作成及びおもてなし体
制の整備を推進しておりま
す。

まず、案内サイン整備に
ついては、現在、観光案内
サイン整備計画を作成中
あり、観光拠点の脇南地区
を中心に現状把握調査を終
えたところです。来年度以
降、複数の外国語の表示と
ともに、統一したデザイン
による案内板及びサインを
順次設置していく計画です。
次に、外国語パンフレッ
トの作成については、ミシュ
ランの一つ星を受けた臥龍
山荘の英語、中国語及び韓
国語によるパンフレットを
今月中に作成します。また、
外国人の観光客が一人でも
まち歩きを楽しめるように、
現在市内のガイド団体のご
協力を得て、実際にまちを
歩く観光客の目線に立った
複数言語による総合観光パ
ンフレットを年度内に作成

する予定です。

さらに、おもてなし体制
の整備については、現在大
洲ガイドの会により英語の
ボランティアガイドをして
いただいています。そのほ
か、一般のガイドとして市
内に各種団体がありますが、
いずれの団体も、ガイドの
養成・確保が課題となつて
おり、外国語パンフレット
作成の協働作業による連携
を行いながら、市民の幅広
い参加によるガイド育成に
ついてガイド団体とも意見
を交換し、今後の仕組みを
検討していきたいと考えて
います。

また、将来的に通訳ので
きる案内人の設置として、
通訳案内士という国家資格
があります。今後の外国人
観光客数の推移を注視しな
がら、状況によっては観光
施設等への配置も検討する
必要があると考えています。

豪雨対策

問 げくぐれ防災対策事
業等について

答 市内の急傾斜地崩壊の
危険箇所数ですが、平

成23年3月末現在1,420
箇所あり、そのうち保全対
象人家が5戸以上のランク
Iに該当するところが30
1箇所となっています。

急傾斜地崩壊対策事業は、
県が事業主体となり、国の
補助を受けて事業実施して
いますが、採択要件を満た
し、地権者の承諾が得られ
かつ整備効率の高い地区か
ら順次整備を図っており、
市内の事業着手箇所は現在
までに151箇所であり、
このランクIに対する整備
率は約50%です。

このように、現在の採択
要件で整備が必要な箇所も
まだまだ多くあることから、
要件の緩和ということより
も、まずは整備箇所を増や
していただくことを優先に、
県に対し要望していきたい
と考えています。

次に、県単独がげくぐれ防
災対策事業については、今
年度は県に対し10箇所を要
望していますが、現時点で
の採択は1箇所であること
から、更なる採択を要望し
ていきたいと考えています。

また、市単独がげくぐれ防
災対策事業については、特
に今年度は台風等の豪雨に